

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

APU

RITSUMEIKAN ASIA PACIFIC UNIVERSITY

立命館アジア太平洋大学
日本(大分県別府市)



2 SHAPE YOUR WORLD

3 数字でみるAPU

5 APUの教育

7 国際経営学部 (APM)

9 アジア太平洋学部 (APS)

11 サステナビリティ観光学部 (ST) *設置構想中

13 科目一覧

15 交換留学

17 課外活動

19 学生生活

23 キャリア教育

25 卒業生の声

27 入学試験ガイド

全てのデータや統計情報は2021年度のもので、
新型コロナウイルス感染症に対する大学の対応については、
大学公式サイト (<https://www.apu.ac.jp/home/notice/content3/>)
を参照してください。

SHAPE YOUR WORLD

FREEDOM, PEACE, HUMANITY.
INTERNATIONAL MUTUAL UNDERSTANDING.
THE FUTURE SHAPE OF THE ASIA PACIFIC REGION.

立命館アジア太平洋大学 (APU) は「自由・平和・ヒューマニティ」

「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として

2000年に開学し、真のグローバルリーダーの育成を目的として

これまでに無い全く新しい多文化学習環境を築いてきました。

開学以来、これまでに世界150を超える国・地域から学生が集い、

国や文化、宗教、政治、価値観等の違いを乗り越え、

共に暮らし、世界が直面する課題の解決のために学んでいます。

APUの学びの出発点は「世界」。

やがて世界を変える人になる、その一歩を踏み出しましょう。

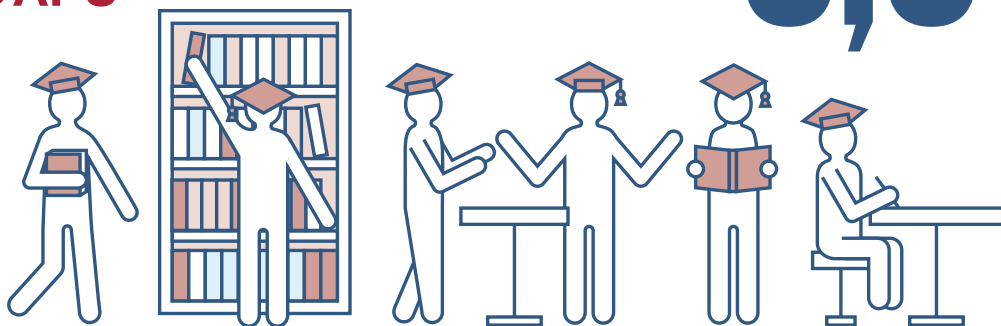


APU BY THE NUMBERS

数字でみるAPU

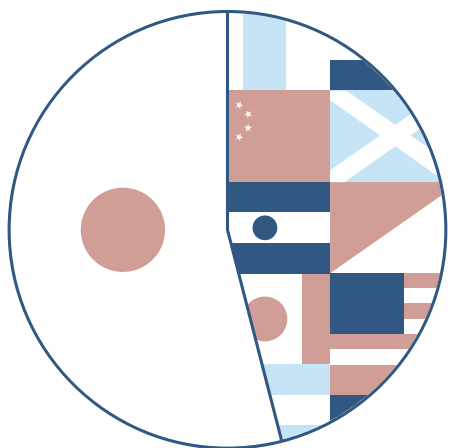
5,516

学生数



20,061

卒業生総数



46%

学生に占める留学生の割合

49%

国際教員

98%

日英2言語での授業比率



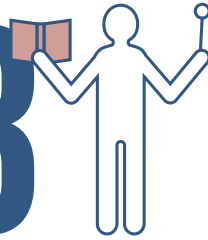


95



学生の出身国・地域数

23



教員の出身国・地域数

159

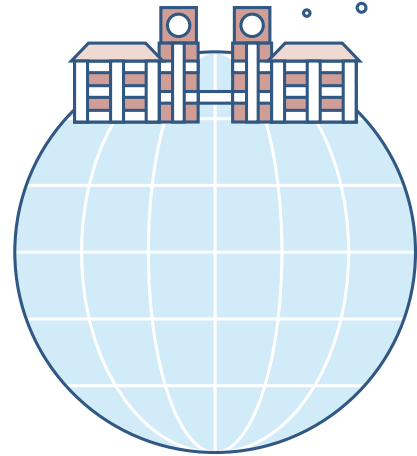


校友の出身国・地域数



THE 大学ランキング日本版 2021

西日本私学総合 1 位



奨学金
受給率

91%

(2021年度入学者のうち奨学金申請者が受給した割合)



EDUCATION THAT INSPIRES YOU

世界的にもユニークな教育環境



Umar Danilo Aly (モザンビーク) APM3 回生

私が日本への留学を考えたきっかけは、発展してきた国の歩みを知りたい、という興味からでした。その中でもAPUは他に類を見ない多文化環境が魅力的で、今でも素晴らしい大学に入学したと思っています。将来、世界で活躍したいと思う私にとって、世界中の人々つながりを構築できることは貴重な機会であり、必ず将来に生きてくると感じています。さらに世界とのつながりだけでなく、地方自治体でのインターンシップを通して日本の地方のことについて学ぶことができたのもかけがえのない経験です。

学部教育



国際経営学部 (APM)

学士 (経営学)

- ・経営戦略・リーダーシップ
- ・マーケティング
- ・会計・ファイナンス
- ・アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメント

学修分野

アジア太平洋学部 (APS)

学士 (アジア太平洋学)

- ・文化・社会・メディア
- ・グローバル経済
- ・国際関係

NEW!

サステナビリティ 観光学部 (ST)

学士 (サステナビリティ観光学)

*設置構想中

コンセントレーション

- ・環境学
- ・資源マネジメント
- ・国際開発
- ・観光学
- ・観光産業
- ・ホスピタリティ産業
- ・社会起業
- ・地域づくり
- ・データサイエンスと情報システム

卒業には4年間で124単位以上を修得することが必要です。

また、将来への明確な目標を持つ学生のために、3年または3年半で学士号が取得できる早期卒業制度を用意しています。

学びの場は世界へ

APUでの学びは、**教室での授業や専門書等から得る知識に留まりません**。APUでは、これまで歩んできた人生も価値観も異なる学生と教員とが、対話型の授業を通じて世界が直面する複雑な課題について議論を交わし、そこで得た知識を社会で実践することを重視しています。また、フィールド・スタディや交換留学、国際会議、学術大会、地域交流やインターンシップへの参加等の実践型プログラムに積極的に参加することで、得た知識の専門性を高めます。

バイリンガルからマルチリンガルへ

世界での活躍を展望する学生にとって、母語や日本語に加えて英語を習得することは必要不可欠です。そのため、APUでは**日本語で専門分野を学ぶとともに英語の習得**を目指します。さらに、英語または日本語に加えてもう一言語の習得をめざす学生を対象として、アジア太平洋言語科目 (中国語、韓国語、マレー語・インドネシア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語) を開講しています。母国でも日本でも第三国でも役に立つ新たな言語を、APUの授業で身につけてください。

教育に飽くなき情熱を持つ教授陣

数十年に渡り研究者の道を歩んできた教員や国際企業・団体での社会経験を有する教員など、国際社会での豊富な経験を持つ世界22カ国・地域出身の教員が在籍しています。**あなたの周りで起こっている身近な社会課題について学び、理論と実践の双方を重視した授業を展開**しています。

COLLEGE と INTERNATIONAL MANAGEMENT [APM]



国際経営学部 (APM)

学士 (経営学)

APMでは、多文化環境でのビジネスについての学習を通して、専門的な知識を養うだけでなく、個人としての成長もすることができる学部です。ビジネスに関する専門知識は、あなたがAPMで身につけられることの一部でしかなく、リーダーシップ、起業、国際的視野を身につけ、多様性を重視したインクルーシブなビジネスを通して、社会変革を生み出すことができるようになります。

また、APMとその大学院においては、世界のトップビジネススクールの国際認証であるAACSB (Association to Advance Collegiate Schools of Business) とAMBAを取得しており、「Double Crown (二つの王冠)」として高い評価を受けています。これにより、世界中の認証大学への交換留学など、世界トップ水準のビジネス教育を受けることができます。くわえて、日本ではまだAPUを含めてまだ3校しか取得していない「UN-backed Principles for Responsible Management Education (PRME)」も取得しています。

学修分野

経営戦略・リーダーシップ

組織が発展し続けるためには、社会的ニーズに応じた目標の設定と目標達成のために一定の行動原理や方法に従って活動することが必要です。国際企業や家業の成功を目指す方に最適な学修分野です。

マーケティング

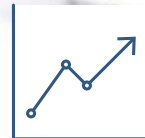
マーケティングコースではグローバル市場においてモノやサービスを生み出す手法を学びます。何を、どのくらい、いくらで、どのように提供すべきか。その理論や手法を学び、世界で活躍できる視野の広い企業人をめざします。

会計・ファイナンス

企業の状態はお金の流れや増減によって判断されます。これを会計といい、企業活動に必要な資金の調達方法や運用方法の分野をファイナンスといいます。会計・ファイナンスの国際通用性のある深い知識を学び、専門性を養っていきます。

アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメント

ビジネスにおいて必要な創造性と実行力はとても重要です。新たな事業を始めるにあたって必要な知識や技術、その考え方を身につけ、将来自らの事業を持つのみでなく、既存の組織においても成長に寄与し、その運営を担える力を養います。



Lailani Laynesa Alcantara 教授 (国際経営学部長、フィリピン)

学位：博士 (経営)、筑波大学

APMのカリキュラムは国際認証AACSBを取得しており、グローバルな舞台で活躍する学生の育成を目的としてデザインされています。APMの学生はさまざまな分野でプロフェッショナルとなるために必要な知識と技術を獲得するとともに、リーダーシップや社会的責任を担っていくための価値観を育みます。

APMでは、魅力的で革新的な授業が展開されています。また、真にプロフェッショナルな学術背景を持つ多様な教授陣や、ビジネスや社会のあり方にポジティブなインパクトを生み出そうと意欲を燃やす学生同士のネットワークがあなたを待っています。創造的かつグローバルな視点でビジョンを描く仲間たちとの対話を通し、学問およびビジネスにおいて大きく成長していくことでしょう。



COLLEGE 与 ASIA PACIFIC STUDIES [APS]

アジア太平洋学部 (APS)

学士 (アジア太平洋学)

アジア太平洋地域の多様な政治、経済、社会、文化等を幅広く理解し、言語や情報技術、調査等の様々な手段を活用して複数の異なる分野を幅広く学びます。それらを通して、世界が直面する複雑な課題を解決する力を養い、将来、政府機関、国際機関、メディア、多国籍企業、等の様々な分野で活躍できる人材を育てます。

APSでは、政治学、社会学、経済についての基礎的な知識を幅広く身につけることで、社会を多角的に見る力を養い、上回生になるにつれて、自らの興味・関心を見極めながら学習していくことができます。また、インターンシップ、海外交換留学、フィールド・スタディ等の学外学修も推進しています。それらの学びを通して、アジア太平洋地域が抱える諸問題について総合的に理解できるようになり、卒業論文等の成果物に取り組みます。

学修分野



文化・社会・メディア

アジア太平洋地域の社会・文化の成り立ち、文化的価値観やメディアについての学びを通じて、世界を俯瞰する視点やメディアについて基礎的な知識を身につけ、**アジア太平洋地域が抱える諸問題について、様々な角度から理解する力を**養います。また、集中と拡散を重視した地域研究・人類学・歴史学についての学外学習を通して、アジア太平洋地域での事象への理解を深めることができます。

グローバル経済

不平等、貧困、食糧危機、農業、自然、産業、環境問題、健康問題、デジタル化、これらの課題には全て経済的な観点で欠かせません。経済についての専門知識を身につけることで、**経済に関わる諸問題についての理解**を深めます。また、集中と回遊を重視した経済学・環境学・国際社会学に関する学外学習を組み合わせ、グローバルイゼーションの観点から経済を体験的に理解する機会を設けています。

国際関係

紛争解決・平和構築について考察を深め、**複雑化する国際社会の問題解決に取り組む力を**養います。国際法、政治学、経済学などを幅広く理解することで、国際関係、紛争解決、平和構築などの分野で必要な批判的思考、政策志向型のアプローチを学びます。また、回遊を重視した国際関係論と国際政治学に関する学外学習と組み合わせた学習を行うことができます。

佐藤 洋一郎 教授 (アジア太平洋学部長、日本)

学位：博士 (政治学)、ハワイ大学

アジア太平洋学部 (APS) は、世界が直面する様々な課題に対する斬新な解決策を見つけるために、ここでしか得られない知識や批判的思考力の修得を目指すラーニングコミュニティです。そこでは、教員と学生が率直に意見を交わし、互いの知識やスキル・人生経験を共有することを通じて、型にはまった考え方を超越していくことが求められます。こうしたアプローチがアジア太平洋地域の諸課題解決に必要な専門分野の知識と実用スキル習得の橋渡しとなります。また、そのカリキュラムは、複数の学問分野を横断的に学べるように組み立てられています。

APUの多文化環境で学ぶ学生は、鋭い洞察力と分析スキル、そして多様な価値観への高い共感力を培い、卒業時には自らを成功へと導くライフスキルと一生涯にわたる仲間を世界中に得ることができるでしょう。



COLLEGE と SUSTAINABILITY AND TOURISM LIST



サステナビリティ観光学部 (ST) 学士 (サステナビリティ観光学)

サステナビリティ観光学部 (ST) は持続可能な社会の形成を研究するサステナビリティ学と、サステナブル観光学の両方を学び、さらに実践することができる世界でも数少ない学部です。STの教員は、世界トップレベルの学術誌、経済協力開発機構 (OECD) や国連世界観光機関 (UNWTO)、日本政府や地方の政策委員会等で活躍しており、環境・開発・観光・社会起業・ICTのスペシャリストが揃っています。

STでは、地域の自然・歴史・文化の価値を発見し、保護しながら観光資源として磨き、グローバル化の中での地域の持続可能な開発に貢献することができる人材を育てます。学生は様々な国や地域の社会問題に取り組み、90以上の国・地域から集まる学生とともに学び、SDGsの達成に資する能力を身に付けることができます。教育の特色として、座学だけでなく、国内外での現場での Problem-based learning (課題解決型学習) を多く取り入れ、さらに調査研究やデータ分析のスキル修得も強化します。

コンセントレーション	
環境学	自然、社会、経済、教育などの学術基礎
資源マネジメント	循環型社会、エネルギー・気候変動などを中心
国際開発	開発社会学・人類学、経済、政治、政策、紛争など国際協力がテーマ
観光学	経済、社会、歴史、文化などの観光学の基礎
観光産業	観光産業の分析、新製品創出、マーケティング
ホスピタリティ産業	ホテルやリゾートにフォーカス
社会起業	NGO/NPOの経営、プロジェクトマネジメントなど
地域づくり	観光地を中心とした地域の持続可能な開発・デザイン
データサイエンスと情報システム	基礎的なスキルと専門分野への応用



李燕 教授 (サステナビリティ観光学部長 (予定)、中国)

学位：博士 (工学)、京都大学

中国では「以不変応万变」ということわざがあります。これを日本語で訳すと「不変を以て万变に应ず」となります。変化が加速する現代社会を生きるためには、あらゆる状況やニーズに対応できる「不変」のものを身につける必要があります。この「不変」とは、考える力であり、行動する力であり、多様な他者と協働する力です。本学部は持続可能な社会の実現という最重要な課題、モビリティ社会における観光のインパクト、デジタルトランスフォーメーションなど、現代国際社会の「万变」に対応したカリキュラム設計になっており、学生は本学の多文化共生キャンパスで「不変を以て万变に应ず」人材として成長できます。ぜひ本学部で、本学のビジョン「APUで学んだ人たちが世界を変える」を実現して欲しいと思います。



SUBJECT LIST

科目一覧

APUでは、以下の科目が開講されています。
ただし、年度によって一部開講されない科目があります。

■ 共通教養科目

APUリテラシー

スチューデントサクセスワークショップ
多文化協働ワークショップ
平和・ヒューマニティ・民主主義
異文化間コミュニケーション入門
異文化フィールドワークI
異文化フィールドワークII
多文化比較論
グローバルリーダーシップの基礎
海外学習デザイン
ブリッジプログラム
アジア太平洋の言語
アジア太平洋の宗教
アジア太平洋の地理
アジア太平洋の文化と社会
アジア太平洋の歴史
日本の政治と社会
日本のポピュラーカルチャー
日本の歴史
日本国憲法
特殊講義（日本学）
異文化間コミュニケーションの応用と実践
グローバルリーダーシップのためのスキルと実践
ソーシャルインパクトのためのグローバルリーダーシップ

茶道
華道
日本の伝統芸能

学部専門入門

持続可能な開発入門*
観光学入門*
政策学入門
社会学入門*
文化・社会学入門
メディア学入門
国際関係論入門
比較政治学入門
政治学入門
世界経済とグローバル課題
経済学入門
基礎数学
統計学
社会科学のための統計学*
上級数学

世界市民基盤

法学
心理学

生命倫理
AIと社会
西洋哲学
中国哲学
西洋美術
近現代の科学技術
ネゴシエーションスキル
論理とクリティカルシンキング
キャリア形成のための自己分析
キャリア形成のための多様な視点
特殊講義（共通教養科目）
ウェブデザイン
情報処理入門
プログラミング入門
情報リテラシー
ウェルネス
メディア制作ラボ
インターンシップ
キャリア形成のためのキャリア分野分析
AIとデータサイエンス
GIS入門
データベースシステム
特殊講義（ICT）
情報システムプログラミング

*これらは、STの学びに強く関連する科目です。

■ 言語教育科目

日本語

日本語（初級・中級・中上級・上級）
キャリア日本語
日本語・日本文化
日本語・日本社会
漢字・語彙スキルアップ
自己表現のための日本語
日本語コミュニケーションスキル

英語

英語（初級・準中級・中級・準上級・上級）
英語ディスカッションとディベート
メディアのなかの英語

ジャーナリズムのための英語
ビジネス英語 A
ホスピタリティ・観光の英語
英語コミュニケーション・スキル
ビジネス英語 B
英語小説講読

AP言語

中国語（I-III）
韓国語（I-III）
マレー・インドネシア語（I-III）
スペイン語（I-III）
タイ語（I-III）

ベトナム語（I-III）
グローバルラーニング（中国語、韓国語、マレー・インドネシア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語）

特定講義

英語検定試験対策講座 I-III
TESOL
日本語教育のための日本語学
日本語教授法
アジア太平洋言語入門
集中言語研修
特殊講義（言語教育科目）

■ APM科目

必修科目

経営学入門
会計学 I
マーケティング入門
金融論
組織行動論
生産・オペレーションマネジメント
ビジネス法務戦略
ビジネスエシックスと社会的責任
グローバルマネジメント（Capstone）

経営戦略・リーダーシップ

アントレプレナーシップ
ファミリービジネス
国際取引
経営戦略論
サプライ・チェーン・マネジメント
組織行動論（上級）
デジタル社会のブランドマネジメント
人的資源管理論
国際物流論
デジタルビジネスストラテジーフォーメーションのマネジメント
レスポンスブル・リーダーシップ
サービスマネジメント
経営戦略・リーダーシップ 特殊講義
戦略分析と意思決定
戦略的プロジェクトマネジメント
サステナブルビジネス
マーケティングとマネジメント 専門演習
マーケティングとマネジメント 上級セミナー
マーケティングとマネジメント 卒業プロジェクト
マーケティングとマネジメント 卒業論文

マーケティング

消費者行動論
デザイン思考とイノベーション
デジタルマーケティング
マーケティング・リサーチ

ニューテクノロジーと未来社会
価格戦略
製品開発論
販売・プロモーションマネジメント
サプライ・チェーン・マネジメント
デジタル社会のブランドマネジメント
観光地マーケティング
国際物流論
国際マーケティング論
デジタルビジネスストラテジーフォーメーションのマネジメント
サービスマネジメント
マーケティング 特殊講義
マーケティングとマネジメント 専門演習
マーケティングとマネジメント 上級セミナー
マーケティングとマネジメント 卒業プロジェクト
マーケティングとマネジメント 卒業論文

会計・ファイナンス

会計学 II
コーポレート・ファイナンス
原価会計
財務会計論 I
財務会計論 II
上級会計
監査
ファイナンスとテクノロジー
金融デリバティブ
金融市場と金融制度
国際会計
国際金融論
投資分析とポートフォリオ・マネジメント
管理会計論
レベニュー・マネジメント
会計 特殊講義
ファイナンス 特殊講義
租税法
会計・ファイナンス 専門演習
会計・ファイナンス 上級セミナー

会計・ファイナンス 卒業プロジェクト
会計・ファイナンス 卒業論文

アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメント

デザイン思考とイノベーション
アントレプレナーシップ
ニューテクノロジーと未来社会
製品開発論
ソーシャルアントレプレナーシップとチェンジメーカー
サプライ・チェーン・マネジメント
システムモデリング
ベンチャー アントレプレナーシップ
上級 ベンチャー アントレプレナーシップ
デジタルビジネスストラテジーフォーメーションのマネジメント
イノベーションマネジメント
オペレーションズ・リサーチ
アントレプレナーシップ 特殊講義
オペレーションマネジメント 特殊講義
戦略的プロジェクトマネジメント
技術経営
アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメント 専門演習
アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメント 上級セミナー
アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメント 卒業プロジェクト
アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメント 卒業論文

APM共通

APM フィールド・スタディ
ビッグデータ分析
ビジネスデータ分析
ビジネスインターンシップ
マクロ経済学
ミクロ経済学
リサーチのデザインと方法
特殊講義（APM 専門）
アジア経済論
ビジネスケース分析・コミュニケーション
国際経済学
経営情報システム

■ APS科目

文化・社会・メディア

社会学
国際社会学
社会学アドバンス
社会理論
社会階層論
宗教と社会
教育と社会
言語と社会
環境と社会
フード・システムと社会
貧困とグローバリゼーション
グローバル化と地域主義
エスニシティと国民国家
多文化社会論
アイデンティティと政治
ジェンダー研究
文化人類学
カルチュラルスタディーズ
メディアと文化
メディアと法
メディアと歴史
メディアと政治
メディアと紛争
デジタル・テクノロジーと社会
ニューメディアと社会
グローバル・ヒストリー
交流の世界史
政治理論
人権論
平和学
人文学と近代
社会心理学
ビッグデータ分析

グローバル経済

社会階層論
国際社会学
文化人類学

ミクロ経済学
マクロ経済学
農業と資源
フード・システムと社会
環境と社会
グローバル経済分析
貧困とグローバリゼーション
計量経済学
ゲーム理論
国際協力論
開発政治論
アジア太平洋の比較政治経済
紛争と開発
プロジェクトマネジメント
エネルギーマネジメント
ビッグデータ分析
行動経済学・実験経済学
日本経済論
国際経済学
アジア経済論
開発経済学
産業生態学
環境コミュニケーション
グローバルヘルス経済学
アメリカ経済論
ヨーロッパ経済論
国際機構論
公共政策
国際政治経済学
特殊講義（アジア・中東・アフリカ経済事情）
国際金融論
環境経済学

国際関係

国際関係理論
国際協力論
人権論
政治理論
開発政治論

アジア太平洋の比較政治経済
国際政治学
国際法
国際問題と政策
紛争と開発
平和学
グローバル化と地域主義
アジア太平洋における国際関係
国際機構論
公共政策
国際政治経済学
アイデンティティと政治
冷戦後の紛争と地政学
暴力とテロリズム
グローバリゼーションと法
国際紛争解決
日本の外交政策
戦略分析と意思決定
エスニシティと国民国家
メディアと政治
メディアと紛争

コア科目

地域研究入門

APS共通

特殊講義（専門教育科目）
APSフィールド・スタディ
地域研究
プロジェクト研究

演習

APS研究作法
調査研究法
専門演習
卒業研究I
卒業研究II
卒業論文

■ ST科目

環境学

生物多様性
環境政策とガバナンス
環境経済学
環境教育
気候変動
環境と社会
公園と保護地域

資源マネジメント

環境汚染と防止
資源マネジメント
エネルギーマネジメント
循環型社会論
サステイナブルビジネス

国際開発

開発社会学・人類学
開発政治論
紛争と開発
国際開発協力
開発政策
開発と経済

観光学

観光社会学
観光文化論
文化人類学
観光とメディア
遺産観光論
観光経済学

観光産業

ツーリズム・オペレーション
ヘルス&ウェルネスツーリズム
MICE産業論
スペシャルインタレスト・ツーリズム
観光地マーケティング

ホスピタリティ産業

ホスピタリティ・オペレーション
フード&ビバレッジ・オペレーション
サービス・エクスペリエンス
リゾート・マーケティング
レベニュー・マネジメント

社会起業

会計入門
経営学入門
マーケティング入門
経営戦略
組織行動論
プロジェクトマネジメント
ソーシャルアントレプレナーシップ
NPO/NGO論

地域づくり

レジリエント都市論
サステイナブル都市開発と計画
サステイナブルツーリズム
観光地開発と計画
農村開発と観光
都市デザイン
コミュニティ開発論

データサイエンスと情報システム

GISとリモートセンシング
インターネット技術とアプリケーション
ビッグデータ分析
システムモデリング
応用統計分析
ニューテクノロジーと未来社会

アカデミック・スキル

社会調査法入門
質的分析技法
文献講読I
文献講読II

演習・最終成果

専門演習
卒業研究
卒業プロジェクト
キャップストーン

オフキャンパス・プログラム

専門実習
フィールド・スタディ
専門インターンシップ

サステイナビリティ観光学部は、設置構想中のため変更になる場合があります。

履修の流れ

大学1年生では、主に英語（言語）、各学部の入門科目、多文化協働ワークショップ（MCW）を履修します。MCWでは、国際学生と国内学生がディスカッションをしたり、1対1の対話をしたりしながら学ぶ機会が多く用意されています。これらの授業は大学生活にいち早く適応するために、そして卒業後にグローバル社会で活躍していくための基礎準備として位置づけられています。その後、専門科目や専門演習（ゼミナール）を受講し、より深い専門知識を身につけていきます。卒業研究の他、インターンシップやフィールドスタディ、交換留学、その他オンキャンパス・オフキャンパス問わず様々なプログラムへの参加も可能です。

BROADEN YOUR HORIZONS

視野を広げる



岡川 春乃 (日本)

APS 2022年 卒業

Université Internationale de
Rabat (モロッコ王国)

2019年9月～2020年5月 交換留学

留学先では、モロッコをはじめ中東・北アフリカ地域の勉強をしたり、現地の日本語学習者との交流を企画・運営したりするなど、様々なことに取り組みました。食事や言語、気候の違いなど、留学中は大変なことばかりでした。それでも、目標を掲げながら1日1日を紡ぐように生きたことで、今ある環境を最大限活用し、毎日を有意義に楽しく過ごせるようになりました。APUには、きっとあなたが一番輝くことができる留学先があるはずです。あなたをより成長させるひとつの手段として、留学に挑戦してみませんか？

世界で学ぶという選択肢

APUが学生交換協定を締結している、45カ国・地域155の国内外の大学へ、学習目的に合わせて1年間または半年間の留学ができます。また、授業料減免は留学中にも継続されるため安心です。

4年間で2つの学位を取得

APUでの2年間の学びに加えて、APSではSt. Edward's University (アメリカ) へ、APMはNEOMA Business School (フランス)、STはSalzburg University of Applied Sciences (予定) へ2年間留学することで、両方の大学の学位を取得し、卒業することも可能です。



交換留学協定校数
155 校 **45** 国・地域



交換留學協定校一覽

Africa

Egypt

The American University in Cairo

Kenya

United States International University-Africa

Tunisia

Mediterranean School of Business

Morocco

University Internationale de Rabat

Asia

Azerbaijan

ADA University

Brunei

Universiti Brunei Darussalam

China

Beijing Normal University-Hong Kong Baptist

University United International College

Institute for Tourism Studies, Macao

University of Macau

XI'an Jiaotong-Liverpool University

China (Hong Kong)

City University of Hong Kong

Hong Kong Shue Yan University

Lingnan University

School of Business of Hong Kong Baptist

University

The Chinese University of Hong Kong

The Hong Kong Polytechnic University

The Hong Kong University of Science and

Technology

The University of Hong Kong

Indonesia

BINUS University

Gadjah Mada University

President University

Universitas Katolik Parahyangan

Korea

Dongseo University

Ewha Womans University

Hanyang University

Kookmin University

Korea University

Kyung Hee University

Pusan National University

Sogang University

Sookmyung Women's University

University of Ulsan

Yonsei University

Malaysia

Universiti Sains Malaysia

Taylor's University

The University of Malaya

Japan

Akita International University

Ritsumeikan University

Taiwan

Feng Chia University

National Chengchi University

National Taiwan Normal University

Tamkang University

Tunghai University

Yuan Ze University

Thailand

Mahidol University International College

Thammasat University

The Philippines

Ateneo de Manila University

De La Salle University

University of the Philippines

Singapore

Singapore Management University

Europe

Austria

Management Center Innsbruck

Salzburg University of Applied Sciences

University of Applied Sciences bfi Vienna

University of Applied Sciences Upper Austria

Belgium

University of Liege

Vesalius College

Croatia

Zagreb School of Economics and Management

Czech

Metropolitan University Prague

Denmark

AARHUS BSS

The Copenhagen Business School

Finland

Laurea University of Applied Sciences

Tampere University of Applied Sciences (TAMK)

University of Helsinki

France

Burgundy School of Business

Ecole de Management de Normandie

Ecole Supérieure des Sciences Commerciales d'

Angers - School of Management

EM Strasbourg Business School, University of

Strasbourg

ESC AMIENS

Excelia Group

Groupe KEDGE Business School

IESEG School of Management

Institut Supérieur du Commerce Paris

Neoma Business School

Paris School of Business

Rennes School of Business

Germany

European University Viadrina Frankfurt (Oder)

Heinrich Heine University

Karlsruhe International University

Otto-von-Guericke-University Magdeburg

SRH University Heidelberg

University of Hohenheim

Zeppelin University

Greece

The American College of Greece

Hungary

Budapest Business School University

of Applied Sciences

Iceland

University of Iceland

Italy

Ca' Foscari University of Venice

Università Cattolica del Sacro Cuore

Università Commerciale Luigi Bocconi

Kyrgyzstan

American University of Central Asia

Lithuania

Vilnius University

Norway

BI Norwegian School of Management

Norwegian University for Science and

Technology

University of Agder

University of Bergen

Poland

Kozminski University

Warsaw School of Economics

University of Warsaw

Portugal

ISCTE - Lisbon University Institute

ISEG - Lisbon School of Economics &

Management, University of Lisbon

Romania

Romanian-American University

Slovak Republic

University of Economics in Bratislava

Spain

IE University

The Universitat Rovira i Virgili

University of Alicante

Sweden

Halmstad University

Linnaeus University

Sodertorn University

Switzerland

Zurich University of Applied Sciences

The Netherlands

Leiden University

The Hague University of Applied Sciences

UK

Northumbria University

Nottingham Trent University

Oxford Brookes University

The University of Hertfordshire

University of Kent

University of Leicester

Westminster Business School, University of

Westminster

Latin America

Argentina

Universidad Argentina de la Empresa

Mexico

Instituto Tecnológico Y De Estudios Superiores

de Monterrey

Universidad de Monterrey

Peru

Universidad del Pacifico

Universidad San Ignacio de Loyola S.A.

North America

Canada

HEC Montreal

Saint Mary's University

Simon Fraser University

The University of British Columbia

Université du Québec a Montreal

University of Lethbridge

University of Ottawa, Telfer School of Management

University of Waterloo

York University

U.S.A.

Boise State University

Carroll College

College of Staten Island, City University of New York

Florida International University

Georgia Institute of Technology

Grand Valley State University

James Madison University

Minnesota State University Moorhead

Nazareth College of Rochester

Old Dominion University

San Diego State University

Southern Illinois University Edwardsville

St. Edward's University

The University of New Mexico

The University of Oklahoma

University at Buffalo, The State University of

New York

University of Houston Downtown

University of North Florida

University of Wisconsin - La Crosse

University of Wyoming

University of the Incarnate Word

Oceania

Australia

Charles Sturt University

James Cook University

La Trobe University

The University of Newcastle

Victoria University

A CAMPUS ≡ NO OTHER



ここでしか経験できない日々

言語や文化、価値観等が異なる世界約90の国・地域から集まった学生が共に学び、生活するAPUのキャンパスでは、見るもの、聞くもの全てがこれまでの日常とは全く異なる新たな経験となります。学生たちはこのユニークな環境で様々な課外活動に取り組むことで協調性や主体性を身につけるとともに貴重な友情を築いています。

各国・地域の伝統芸術や生活文化を互いにより理解するために、さまざまな国・地域の学生が一体となってつくりあげる「マルチカルチュラル・ウィーク」というイベントがあります。イベントをつくりあげる過程で母国への誇りや他国への尊厳の念を育み、相互理解力・課題遂行力・自主性・協働性といったグローバル人材に求められる力を自然と身につけていきます。

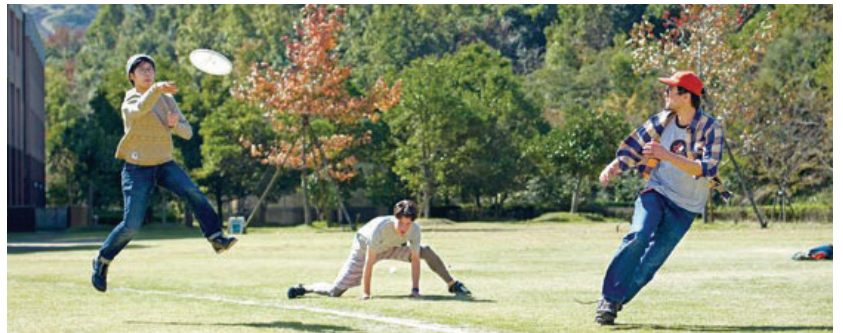


Janani Sampath (インド)
2022年APS卒業

3年間グローバルビジネスリーダー（GBL）で活動し、現在はその代表を務めています。GBLはビジネス志向、リーダーシップ、チームワークなど、ビジネスに必要なスキルを学生たちが習得、実践できる機会を提供しています。一般の会社と同様の運営をしており、役員会や管理体制といった組織を確立しています。

APUにはたくさんの課外活動団体があります。興味のあるサークルなどのガイダンスにまずは参加し、自分に合うものを見つけてください。自分のコンフォートゾーンを飛び出して、新しい世界に飛び込んでください！





クラブ・サークル一覧

- APUサッカー部
- APU 模擬国連
- APU 空手道部
- APU 茶道部
- 学術親睦ボランティア PRENGO
- Gospel★Soul
- Kポップダンス K-Muse
- グローバルビジネスリーダー
- サブカルチャー研究会
- ハビタットAPU
- よさこい踊り よっしゃ虎威
- ラグビー部
- 男子ラクロス部
- 和太鼓“楽”
- など100団体以上

マルチカルチュラル・ウィーク一覧

- アフリカウィーク
- インドウィーク
- インドネシアウィーク
- オセアニアウィーク
- 韓国ウィーク
- 京都ウィーク
- タイウィーク
- 台湾ウィーク
- 中国ウィーク
- ファッションウィーク
- ベトナムウィーク
- マレーシアウィーク
- モンゴルウィーク
- Love Pride

YOUR HOME AWAY FROM HOME

充実の学生生活をサポート

APUのキャンパスが立地する

海拔約330メートルの丘の上からは、
美しい別府湾や山々を一望することができます。

学内施設・設備

- ・図書館、メディアセンター
- ・食堂、カフェ、購買、和室、会議室、音楽・ダンススタジオ
- ・ミレニアムホール
- ・屋外ステージ
- ・体育館、フィットネスルーム
- ・多目的グラウンド
- ・屋外バスケットボールコート
- ・テニスコート
- ・ヘルスクリニック・カウンセリングルーム
- ・移動販売
- ・ATM
- ・郵便
- ・屋内バスターミナル（コンビニ併設） など



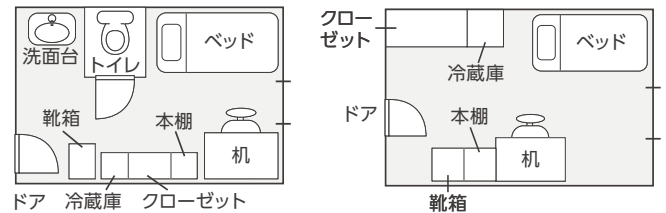
異文化理解が日常になる学生寮

学生寮APハウスは、世界中から集まった仲間たちと日常生活を通じて世界の文化や言語を互いに学べる他には類のない学生寮です。さらに各階に居住するRA (Resident Assistant) がAPハウスで生活していく上で必要な習慣やルールを教えてくれるため、日本での新生活を始めるのに最適な環境です。

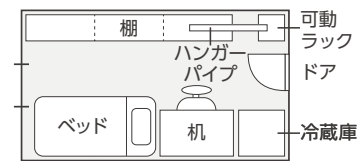
居室の間取り

全室に家具が備わっています。新APハウスへの入寮を希望する場合は、早期に出願する必要があります。

APハウス1&2



新APハウス



APハウスの統計情報

1,205

APハウス1&2

240

新APハウス

48

共同キッチン数

寮費 (光熱費含む)

50,000円/月

APハウス1&2

52,000円/月

新APハウス

一部、変更になる場合があります。

APハウスの設備

- ・シャワーブース
- ・共同浴場
- ・コンピュータールーム
- ・学習室
- ・購買
- ・24時間警備
- ・ビリヤード等の娯楽設備
- ・バスケットボールコート
- ・空調
- ・全ての居室でWi-Fi利用可能



図書館



バスターミナルラウンジ



スポーツ施設



カフェテリア



授業風景



屋外ステージ



生協



言語自主学习センター (SALC)



新教学棟



APハウスキッチン

SETTLING IN

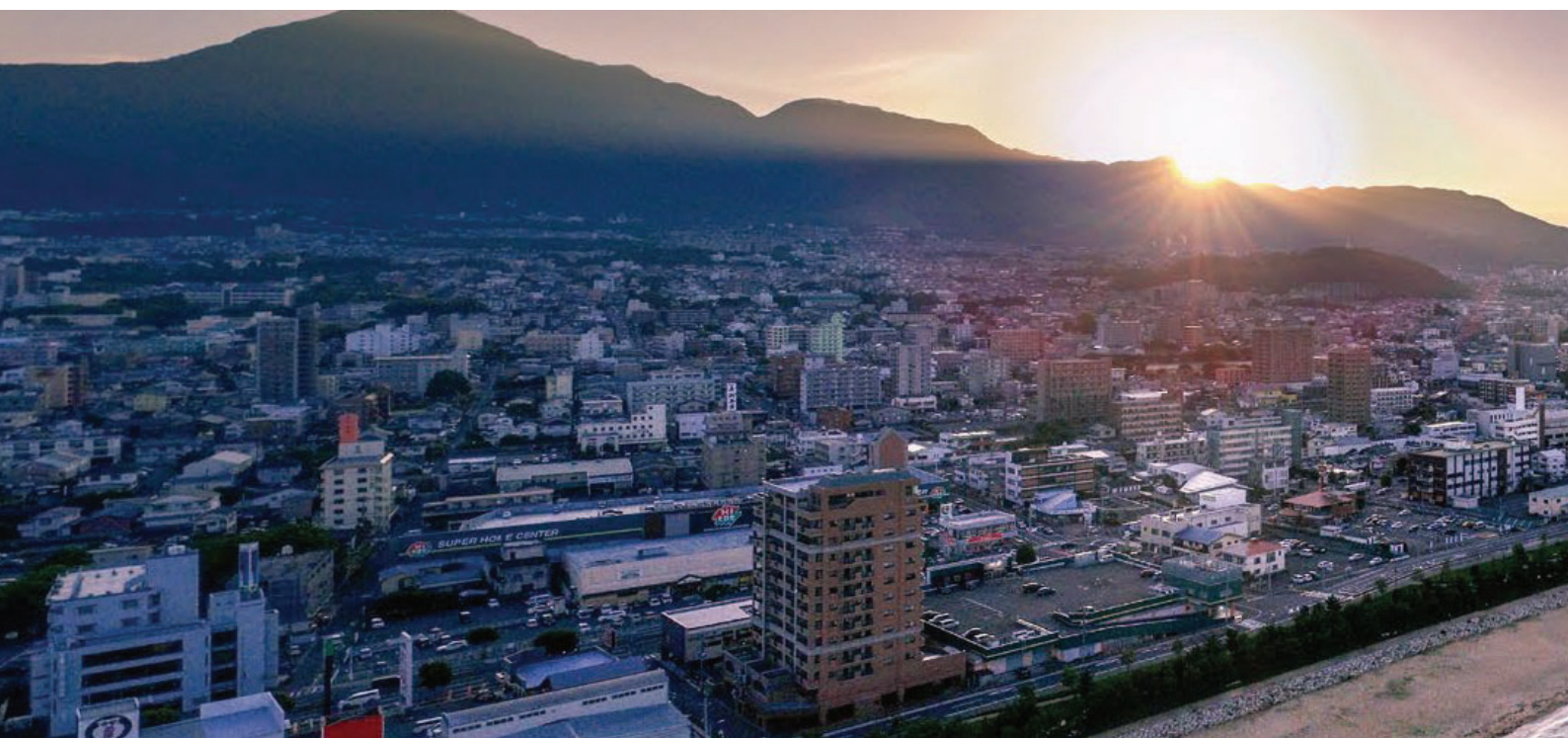
心から落ち着ける街

留学に適した国、日本

世界的にも美しい景色や豊かな伝統・現代文化に恵まれた日本は、世界の人が最も訪れてみたい国の一つとして知られています。また、最先端の技術力を持ち、世界で最も安全な国としても知られており、安心して学修に集中できます。

国際観光文化都市、別府

日本列島の南に位置する九州の海沿いの町「別府」にAPUはあります。別府市は、日本の伝統文化が今も残る町並み、そして世界有数の温泉地として知られ、国内外から多くの観光客が集う一大観光地となっています。また、別府は国内外のその他の都市と比較しても安全で、生活費を安く抑えることができるため、留学には最適な環境です。



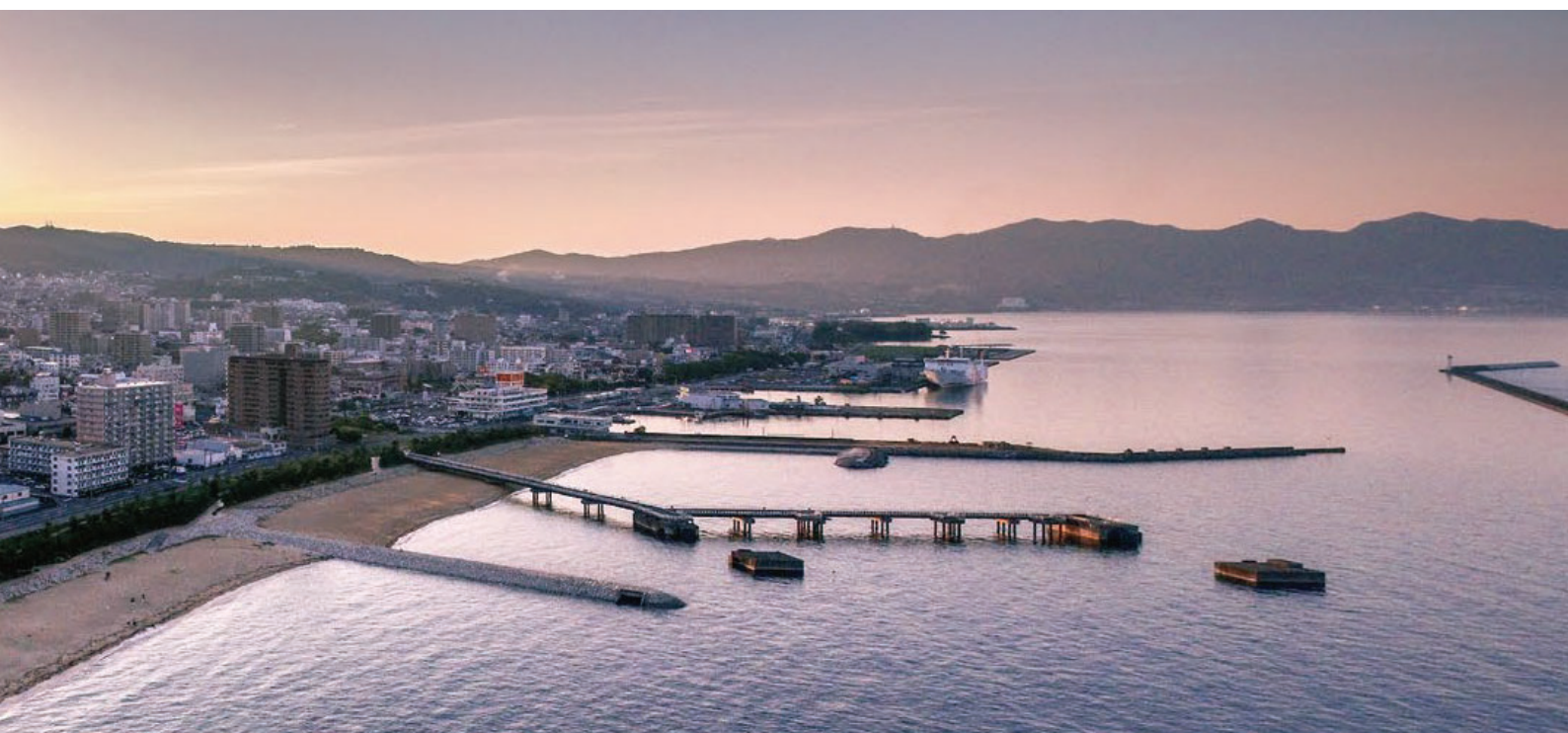


街での暮らし

2回生になりAPハウスを退寮した後は、別府市内のマンション等に入居します。生活スタイルは様々で、友人とルームシェアをすることで家賃を安価に抑え、語学力を大きく向上させる学生もいます。また、市内にはショッピングモールやカフェ、カラオケ、ボウリング場や世界各国のレストランなどがあり便利です。清潔で安全な飲料水、新鮮な空気、木々や花が綺麗な公園、体育館やプールなどの運動施設に加え、病院等の医療施設も充実しており健康的な生活を送ることができます。また万が一、怪我や病気をした際も、APU学生は国民健康保険に加入していますので、一部の自己負担で医療を受けられます。

日常生活が学びの場

日本では「資格外活動許可証」を取得することで、授業期間中は週28時間（長期休暇中は週40時間）まで働くことができます。アルバイトでは収入を得られるだけでなく、日本企業のサービスやおもてなしの精神を学ぶこともできます。ただし、学生である以上はアルバイトを優先しないように注意が必要です。なお、学内でのアルバイトの多くは日本語を必要としませんが、学外では会話ができる程度の日本語力が必要です。



数字で見る別府市

113,252

別府市人口

2,873

外国人人口

2,217

源泉数

1,374 METERS

別府で最も高い山：鶴見岳

NO.1 NO.2

日本第1位、世界第2位の
温泉湧出量



年間平均気温

1月

5°C / 41°F

4月

14°C / 57°F

7月

28°C / 82°F

10月

20°C / 68°F

CREATING A BRIGHTER TOMORROW

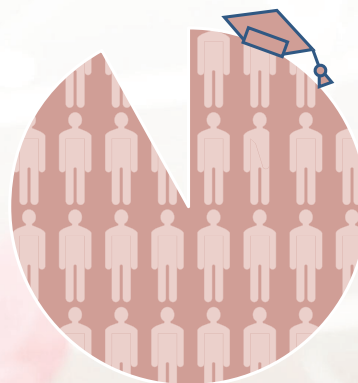
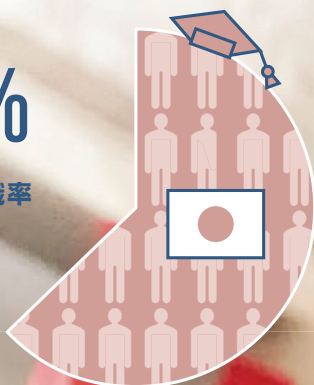
世界へと踏み出す時

インターンシップ

産学官連携による重要な人材育成プログラムの1つであるインターンでは、企業や自治体などで実務に挑み、仕事への理解を深めることでキャリアビジョンを明確にしていきます。また、本学と企業・団体が協定を結んでいる協定型インターンシップでは、教員による授業と組み合わせることで、一步深い学びとすることができます。

63%

国際学生の
日本での就職率
(卒業時)



92%

就職決定率
(卒業時)

人生の岐路に立つ

高い言語運用能力や知識を身に付け、様々な経験を積んだあなたは、APU卒業時には世界中で通用するグローバル人材になっていることでしょう。APUでは、国内外から年間200社以上の企業・団体が来学し、会社説明会や面接など採用の一連をキャンパスで実施しているため、大学にいながらにして企業を知ることができます。また、就職をはじめ世界中の大学院へ進学をしたり、日本や海外で起業したりする学生も少なくありません。

主な内定先企業

アマゾンジャパン合同会社
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
パナソニック株式会社
KPMG 税理士法人
Apple Japan 合同会社
シェラトン・ホテルズ&リゾーツ
ヒルトン東京
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
株式会社みずほフィナンシャルグループ
ソフトバンク株式会社
国際連合
富士通株式会社
株式会社りそな銀行
株式会社SMBC信託銀行
ブルームバーグL.P.
ユニリーバ・ジャパン株式会社
株式会社コーセー
大王製紙株式会社
株式会社バンダイナムコエンターテインメント
日立化成株式会社
株式会社 公文教育研究会
ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社
株式会社ホンダトレーディング
東京センチュリー株式会社
独立行政法人日本貿易振興機構

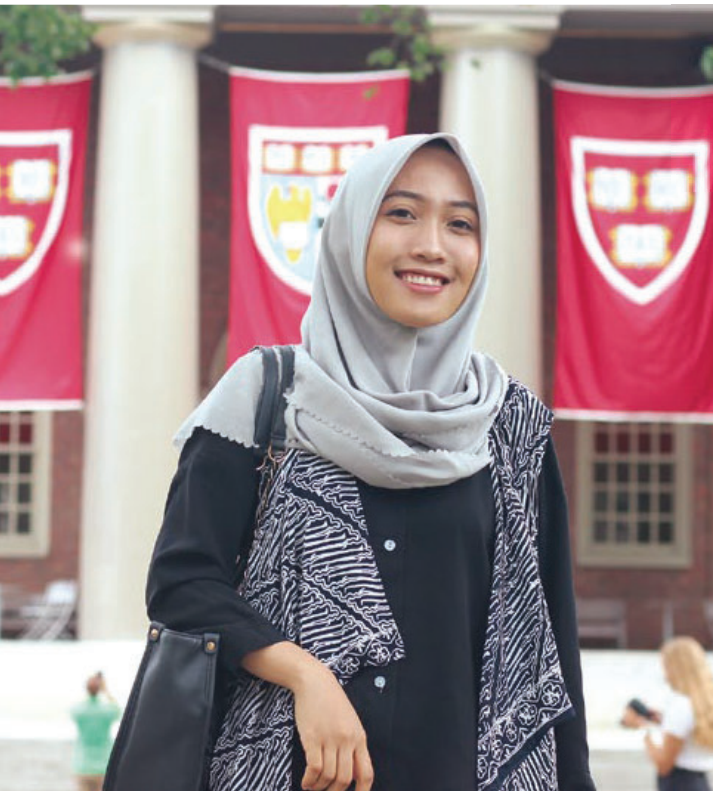
主な進学先大学院

オックスフォード大学大学院 (イギリス)
ハーバード大学大学院 (アメリカ)
ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス大学院 (イギリス)
ワシントン大学 (アメリカ)
メルボルン大学大学院 (オーストラリア)
東京大学大学院 (日本)
ブリティッシュコロンビア大学大学院 (カナダ)
南洋理工大学大学院 (シンガポール)
ソウル大学大学院 (韓国)
京都大学大学院 (日本)
オハイオ州立大学大学院 (アメリカ)
ルンド大学大学院 (スウェーデン)
ダブリン大学トリニティ・カレッジ (アイルランド)
コペンハーゲン商科大学大学院 (デンマーク)
アイスランド大学大学院 (アイスランド)
筑波大学大学院 (日本)
梨花女子大学大学院 (韓国)
チュラロンコン大学 (タイ)
エセック経済商科大学大学院 (フランス)
トリア大学大学院 (ドイツ)
ライデン大学大学院 (オランダ)
BIノルウェービジネススクール (ノルウェー)
シンガポールマネージメント大学 (シンガポール)
スイスホテルマネージメントスクール (スイス)
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン大学院 (イギリス)

※上記は、以下の順で列記しています。内定先企業：従業員規模 (APU調べ) 大学院：THE世界大学ランキング2022。
ただし、ランクに掲載がない場合は、国名に基づきアルファベット順に表記。

ALUMNI JOURNEYS

卒業生の声



APU ハーバード大学 大学院・修士課程

Indah Shafira Zata Dini (インドネシア)

APS 2019年 卒業 居住地: アメリカ

私はAPUで、様々な学生団体やプロジェクト、マルチカルチュラルウィークに参加しましたが、自身の成長に最も影響を与えてくれたのは、APUの学長室が主催した、日本のビジネスパーソン対象の異文化理解・対応力についての研修にサポート役として参加したことです。これを含め様々なプログラムにおいて、学ぶ側と教える側の両方の立場を経験したことで、教育分野に関心を持つようになりました。大学院への進学を決めた際には、APUの教員や友人たちから力強いサポートを受け、最終的にハーバード教育学大学院に進学することができました。APUのユニークなキャンパスでは、異なる背景を持つ人々と交流しながら、コミュニケーション能力やマルチタスク能力、時間管理能力を身に付けることができます。ぜひ皆さんも、このAPUの環境を最大限に生かして、自分の強みを仲間と共有し、共に成長しながら目標に向かって取り組んでください。

APU 国連開発計画(UNDP)タイ

Pongpanott Deekong (タイ)

APS 2017年 卒業 居住地: タイ

2020年から、国連開発計画(UNDP)タイオフィスで、Social and Policy Innovation Specialistとして勤務しています。現在は、アジア太平洋地域諸国間の技術革新と知識交換の加速化を目的としたプログラムを主導しています。また、より多くの方に子どもの発達段階での遊びの重要性について意識を高めてほしい、という願いでLeewayという団体を2019年に自分自身で立ち上げました。APUでは、大学生活そしてレジデント・アシスタント(RA)という活動を通して、多文化環境の中でこそ得られる知識やスキルを身につけました。この活動を通して学んだことが、自分の今の仕事に大変役立っていると感じています。APUで過ごした時間があったからこそ今の自分があり、自分の人生で何がしたいのか、ということを実感することができたと思います。よりよい世界をつくるために貢献したい、同じ人間同志、他者の感情を理解して分かち合える世の中をつくりたい、それが私の人生の目標です。





APU > Doloon Boldog 合同会社

Oyun Samdan (モンゴル)

APM 2008年 卒業 居住地:モンゴル

APUに在学していた時、よく先生方から、APUのような国際大学で学べることはとても幸運なことだと言われました。しかし、当時はその意味をあまり理解していませんでした。家具やキッチン用品を取り扱う会社を自分で経営するようになった今、APUで学んだことのアドバンテージを実感しています。私はAPUで、世界各国から集まった仲間たちと出会い、世界中にネットワークができました。これは、特にこの時代において、どんなキャリアを選択するにしても大きな強みになると思います。日本の企業や団体とビジネスをする上で、APUで学んだ日本語はもちろん、他者を尊重し、オープンマインドで接するというAPUで身についた習慣が役立っています。人生とは挑戦の連続で、何の障害もない人生はきっとつまらないものでしょう。皆さんがどんな道に進むとしても、自分の仕事に情熱を持ち、目標に向かってベストを尽くしてください。

APU > Bloomberg L.P.

Radoslav Tsvetanov Tsvetkov (ブルガリア)

APM 2020年 卒業 居住地:日本

APU在学当時、私はキャンパスで唯一のブルガリア出身の学生でしたが、APUのオープンでフレンドリーな環境のおかげで、ホームシックになることは一度もありませんでした。APハウスにはいつも誰か仲間がいて、一緒に料理や勉強をしたり映画を観たりしました。現在は、マーケットデータアナリストとして、ブルームバーグで働いています。海外にいる同僚やチームメンバーと連携して効率的に業務を進める上で、APUで培った多文化適応能力や対人能力がとても役立っています。また、外資系企業に勤めていますが、マルチリンガルとして、APUで習得した日本語を日々使って日本国内のクライアントにカスタマーサービスを提供しています。大学在学中は、将来自分は何をしたいのか、どんな人になりたいのか、迷うこともあると思います。でも自分の枠から抜け出す勇氣さえあれば、APUではインスパイアされる経験がたくさんできるので、きっと答えを見つけられるはずです。



FEES AND SCHOLARSHIPS

費用・奨学金

入学1年目に必要な費用^{*1}



	1回生新入学	2回生編入学・転入学	3回生編入学・転入学
標準修業年限	4年	3年	2年
入学金	200,000 円 (1,735 USドル)	200,000 円 (1,735 USドル)	200,000 円 (1,735 USドル)
授業料	1,300,000 円 ^{*2} (11,279 USドル)	1,500,000 円 (13,015 USドル)	1,500,000 円 (13,015 USドル)
住宅補償料・保険料	17,010 円 (148 USドル)	13,010 円 (113 USドル)	8,980 円 (78 USドル)
APハウスの入寮にかかる前納金	228,000 円 (4月入学) / 203,500 円 (9月入学) (1,978 USドル (4月入学) / 1,765 USドル (9月入学))		
APハウスの寮費 (月額)	50,000 円 (APハウス 1 & 2) / 52,000 円 (新APハウス) (434 USドル (APハウス1 & 2) / 451 USドル (新APハウス))		

^{*1} 金額は変更になることがあります。
上表に記載のUSドル表示はあくまでも参考です (1ドル115円計算)。
^{*2} 2回生~4回生までの年間授業料は1,500,000円です。

入学金

授業料減免の適用有無にかかわらず、すべての入学者が支払う必要のある費用です。可否発表日から約4週間内に指定の締切日までに入学金の納入が必要です。一旦納入された入学金は理由のいかんにかかわらず返還いたしませんので、ご注意ください。

授業料

第1セメスターの授業料 (APU 授業料減免の採用者は予め減額された金額) を入学手続き時に納入することが必要です。年間授業料の残額は入学後に請求されます。

保険料

本学で学ぶ国際学生の日常生活における賠償責任事故に備え、国際学生全員が加入する保険の費用です。

APハウスの入寮にかかる前納金

国際学生の新生入生全員が入寮する学生寮 APハウスの前納金として全員が支払う必要のある費用です。内訳は入居費 (32,000円)、敷金 (98,000円)、家賃の前納 (104,000円) です。これらの情報は変更されることがあります。詳しくはアドミッションズサイトを参照してください。

生活費

上表に記載の寮費を含めて、日本での生活には月額約83,000円 (約713USドル) が必要です。これを入学のための経費支弁の目安としていますが、実際の生活費は、個々によって異なる場合があります。

奨学金

APUは優秀な学生に対して4年間 (標準修業年限) の修学に適用される独自の授業料減免制度 (年間授業料額の30%、50%、65%、80%、100%を減免) を設けています。授業料減免の採用者は入学までに留学ビザの取得が必要です。その他、入学後に優秀な成績を修めた学生や在学中に自主活動で成果を上げた学生を対象とした奨学金制度もあります。



APPLY TO APU



出願方法

以下は、アジア太平洋学部と国際経営学部の出願期間です。サステナビリティ観光学部（設置構想中）は、別途、アドミッションズサイトにて案内します。

出願期間

2023年4月入学：

2022年6月1日（水）～2022年10月12日（水）

2023年9月入学：

2022年9月1日（木）～2023年3月22日（水）

日本、中国、インド、インドネシア、韓国、タイ、ベトナムに居住する志願者には、上記日程以外の試験日程を設定しています。詳しくはアドミッションズサイトまたは入学試験要項を確認してください。

編転入・転入学を希望する場合、出願期間・提出書類等が異なりますので、アドミッションズサイトで確認してください。

https://admissions.apu.ac.jp/how_to_apply/transfer_students/

出願資格

学歴：

1回生新入学：通常の課程による12年の学校教育を修了した者または修了見込みの者

編入学・転入学：通常の課程による13年もしくは14年の学校教育を修了した者または修了見込みの者

言語能力の最低基準：

試験	1回生新入学	編入学・転入学
IELTS	6.0*1	6.5*2
TOEFL iBT® Test*3	75	85
TOEIC® L&R Test*3	750	800
Cambridge English Language Assessment	169	176
PTE Academic	50	58
英検	準1級	1級

*1 かつ各項目が5.5以上であること。

*2 かつ各項目が6.0以上であること。

*3 TOEIC、TOEFL、TOEFL iBT and TOEFL ITPはエデュケーション・テストング・サービス（ETS）の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けたその承認を得たものではありません。

試験	1回生新入学	編入学・転入学
JLPT N1	100	110
JLPT N2	120	140
EJU（日本語）	聴解・聴読解、読解250点 記述30点	聴解・聴読解、読解280点 記述35点

出願手順

APU オンライン出願システムにて出願をしてください。アカウント作成後、必要な情報をすべてシステム内に入力、書類をアップロードします。入学検定料の支払い及びオンラインアセスメントの受験をもって出願が完了します。

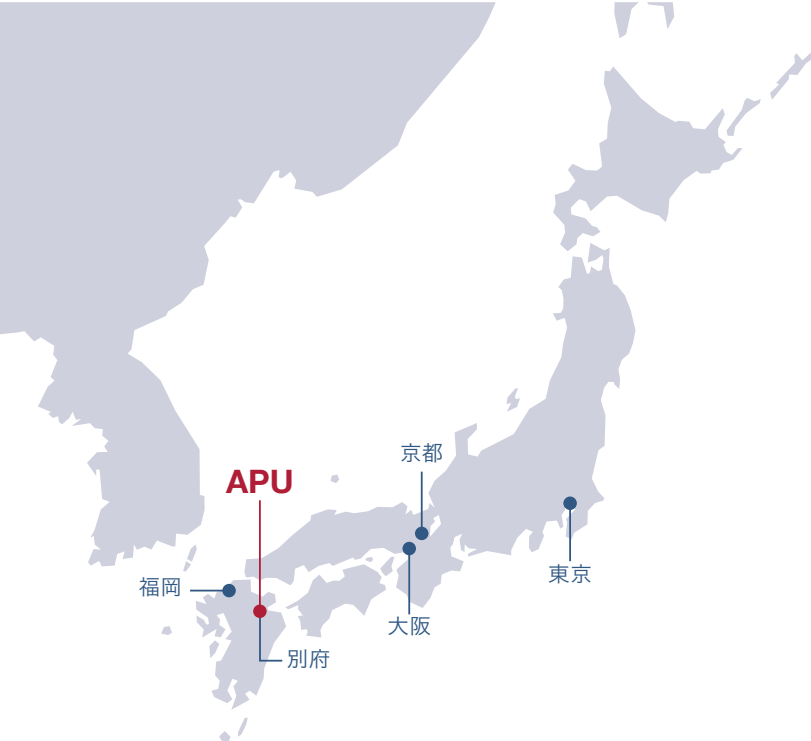
https://admissions.apu.ac.jp/apply_online/



出願から最終選考結果発表までの詳細は、アドミッションズサイトの出願方法ページから確認できます。

https://admissions.apu.ac.jp/how_to_apply/





APU 海外事務所

中国

Ritsumeikan Liaison Office –
Shanghai Jiao Tong University D, 18F Shentong Xinx
Guangchang, No. 55, Huaihai West Rd.
Shanghai City 200030 China
Tel: +86-21-6283-5104
Email: apuchina@apu.ac.jp

インドネシア

APU Indonesia Information Center
C/O MARQUEE, Mayapada Tower I, 11th Floor, Jl.Jend.
Sudirman Kav. 28 Jakarta 12920 Indonesia
Tel: +62-21-5289-7328/7392
Email: apu-ina@apu.ac.jp

韓国

APU Korea Office
#608, Halla Classic Officetel 6th Floor, 23 Gangnam Daero
84 Gil, Gangnam-gu, Seoul 06233 Korea
Tel: +82-2-564-3425/3426
Email: hello@ritsapu-kr.com

台湾

APU Taiwan Office
8F., No. 560, Sec. 4, Zhongxiao E. Rd.,
Xinyi Dist., Taipei City 110, Taiwan
Tel: +886-2-7718-8685
Email: taipei@apu.ac.jp

タイ

APU Thailand Office
Room 1015, 10th Floor, Serm-Mit Tower 159/16 Soi Asoke,
Sukhumvit 21 Road Wattana, Bangkok 10110 Thailand
Tel/Fax: +66-2-665-7145
Email: thailand@apu.ac.jp

ベトナム

APU Viet Nam Office
238/2B Nguyen Thi Minh Khai St.,
Ward 6, District 3, Ho Chi Minh City, Viet Nam
Tel: +84-28-39-30-6432
Hotline: +84-981-32-6432
Email: vietnam@apu.ac.jp

お問い合わせ

APU アドミッションズ・オフィス
〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1
Tel: +81-977-78-1200 (日本語対応)
+81-977-78-1119 (英語対応)
admissions.apu.ac.jp
admissions.apu.ac.jp/contact_us

📘 Ritsumeikan.APU

▶ APUAdmissionsOffice

📷 ritsumeikanapu

🎧 ritsumeikanapu



連絡窓口

香港・マカオ

Mr. Daniel Smiley
Tel: +852-6858-5902
Email: smileyd@apu.ac.jp

インド (北部・西部)

Ms. Deepti Singh Ritsumeikan APU Delhi Office
18A103 WeWork, Berger Delhi One, 19th Floor, Sector 16B,
Noida Uttar Pradesh 201301, India
Tel: +91-73037-86004
Email: d-india@apu.ac.jp

インド (中央部・東部・南部)

Ms. Ishana Malkani & Mr. Harshkumar Kedia
5/A Court Chambers, 35 New Marine Lines,
Mumbai, India 400020
Tel: +91-98-2187-4565, +91-76664-93716
Email: m-india@apu.ac.jp

マレーシア

Ms. Sookfan Ho
C-5-15 Megan Phoenix, Jalan 2/142A Cheras KM 10,
56100 Kuala Lumpur, Malaysia
Tel: +6012-219-3312
Email: sookfan@apu.ac.jp

Mr. Alex Long

Tel: +60-111-068-0111

Email: alexlong@apu.ac.jp

スリランカ

Dr. Harin Gunawardena
183/1, Nawala Road, Nugegoda, Sri Lanka
Tel: +94-714251314

アメリカ・カナダ

Ms. Bethany Kanda
Tel: +1 (808) 476-0131
Email: apu-usa@apu.ac.jp